

「もったいない」を「分かち合い」・「ありがとう」へ



フードバンクかながわ 学 習 資 料

2020年度版



フードバンクかながわ設立経緯

2015年 9月 マイクロクレジット・フードバンク研究会
2016年11月 フードバンク検討会
2017年 4月 フードバンク設立準備会
2018年 2月 一般社団法人フードバンクかながわ設立
2018年 4月 事業運営開始
2018年10月 公益社団法人となる

【構成団体】

かながわ勤労者ボランティアネットワーク
神奈川県生活協同組合連合会
神奈川県農業協同組合中央会
神奈川県労働者福祉協議会
公益財団法人かながわ生き生き市民基金
公益財団法人横浜YMCA

生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
生活協同組合ユニーコープ
生活クラブ生活協同組合
こくみん共済 COOP 神奈川
中央労金神奈川県本部
(特非)参加型システム研究所



フードバンクかながわの設立目的 (モットー・キーワード)

「もったいない」を
《食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす》

「分かち合い」~
《フードバンクを通じて、地域のたすけあい・支え合いを実現》

「ありがとう」へ
《生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の
食のセーフティーネットをめざす》

日本の「食品ロス」 約612万トン



国民 1 人当たり食品ロス量

1日 約132g

※ 茶碗約1杯のご飯の量に相当

年間 約48kg

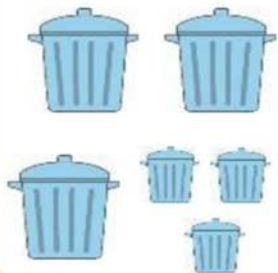
※ 年間1人当たりの米の消費量
(約54kg) に相当



資料：総務省人口推計(平成29年10月1日)
平成29年度食料需給表(確定値)

事業系

約328万トン



家庭系

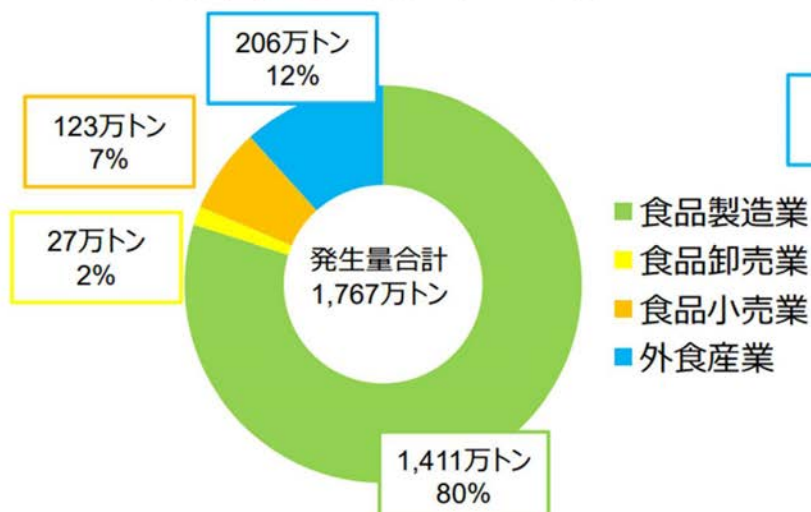
約284万トン



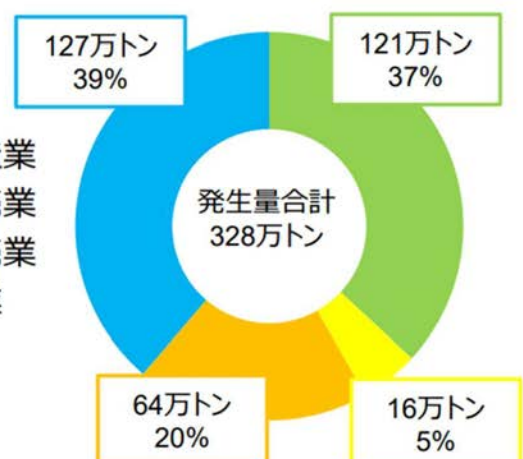
事業系の食品廃棄物等と食品ロスの発生量（平成29年度推計）

- ✓ 食品廃棄物等の発生量は、平成29年度で1,767万トンとなっており、このうち食品製造業が80%を占めている。
- ✓ 可食部の食品廃棄物等の発生量は328万トンとなっており、このうち外食産業が39%、食品製造業が37%を占め大部分となっている。

①事業系食品廃棄物の業種別内訳



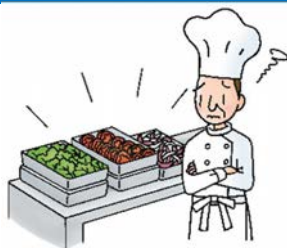
②事業系食品ロス（可食部）の業種別内訳



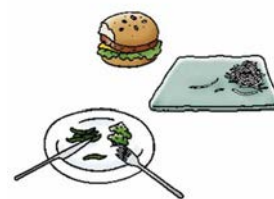
事業系【外食産業・製造業・卸売業・小売業】の食品ロスの例



売れ残り
店舗で売れ残ったもの



仕込みすぎ
飲食店で仕込みすぎた料理



食べ残し
飲食店で客が食べ残したものの



納品期限切れ
欠品を防ぐために多く仕入れた商品のうち、期限切れなどで販売できなくなったもの、企業の商習慣(1/3ルール)など。



破損品
輸送過程で中身は何となくでも、外箱が破損したり汚れて販売できなくなったもの



規格外品
製造過程での印字ミス(賞味期限、消費期限など)や型くずれ等により販売できなくなった食品



製造や加工工程での調理くず
製造過程で食べやすい大きさや容器に入る重量に原料をカットする等で必然的に廃棄される食品

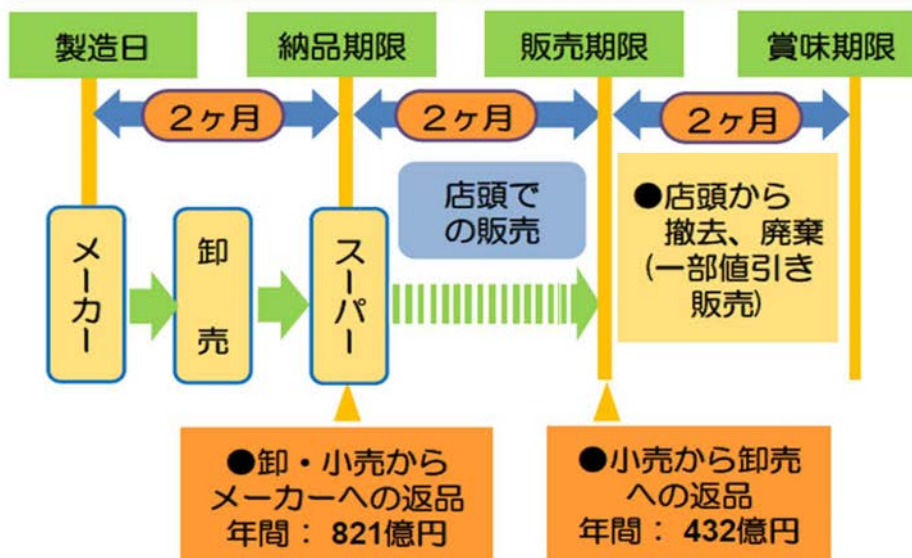


●食品製造業、卸売業、小売業での食品ロス②

食品ロス問題

- 小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限は、製造日から賞味期限までの期間を概ね3等分して商慣習として設定される場合が多く(いわゆる3分の1ルール)、食品ロス発生の一つの要因とされている。

いわゆる3分の1ルールによる期限設定の概念図(賞味期限6ヶ月の場合)



●欧米の納品期限

国	納品期限 (賞味期限ベース)
アメリカ	1/2残し
フランス	1/3残し
イタリア	1/3残し
ベルギー	1/3残し
(参考) 日本	2/3残しが平均

資料：製・配・販連協賛会による平成26年度の推計結果

神奈川県内の家庭から出される食品ロス(2018年)

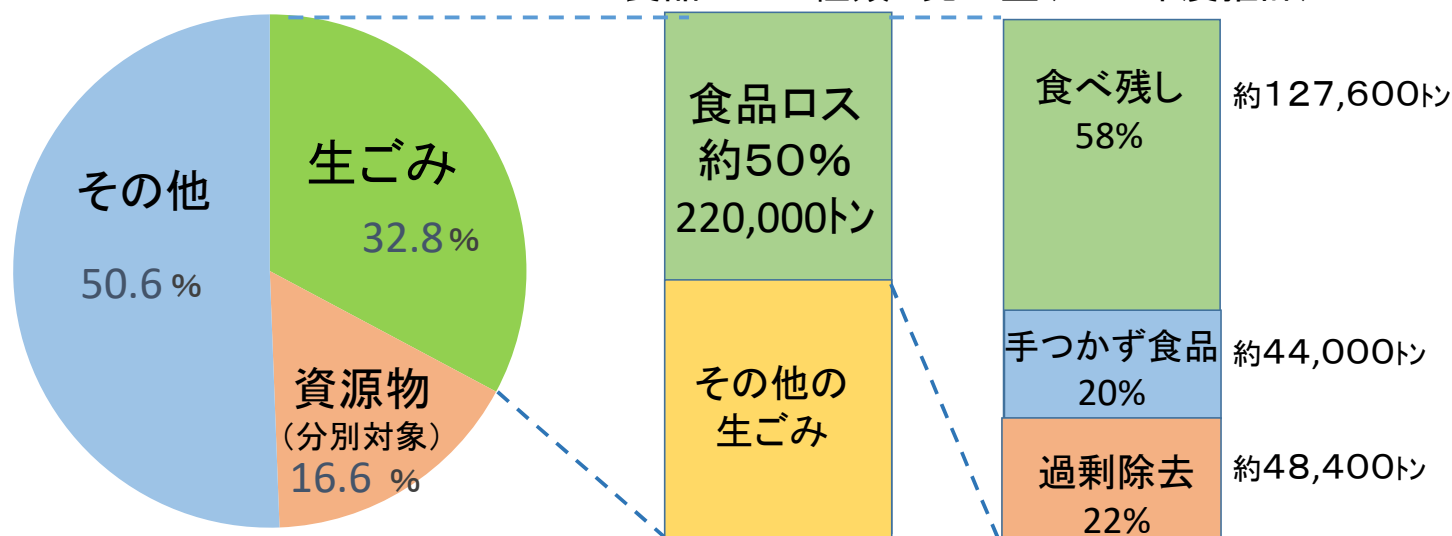
食品ロス発生量=220,000トン/年

◆処理費用約88億4800万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2)=約53,592トン(1t当たり243.6kg)

燃やすごみの組成調査結果(2018年)

食品ロスの種類と発生量(2018年度推計)

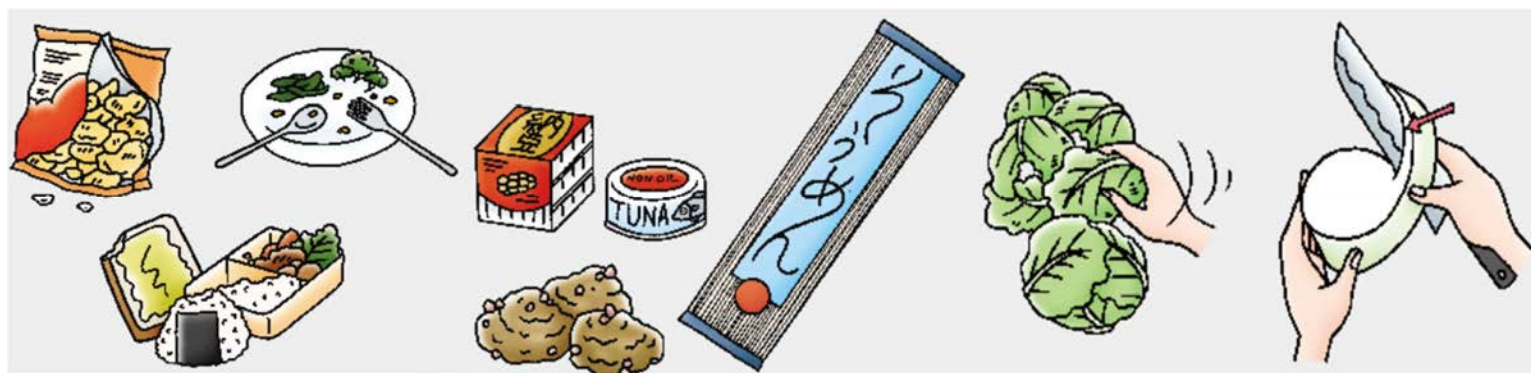


神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO2排出量

◆処理費用約88億4800万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2)=約53,592トン(1t当たり243.6kg)



食べ残し 127,600トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・ちよっと残し等

◆処理費=51.3億円/年

●CO2=31,083トン

手つかず 44,000トン

調理されず、何も手がつけられずに廃棄される食品

◆処理費=17.7億円/年

●CO2=10,718トン

過剰除去 48,400トン

野菜や果物の皮を厚くむきすぎたり、取り除きすぎたもの

◆処理費=19.5億円/年

●CO2=11,790トン

神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

食品ロス削減推進法のポイント

政府や自治体の施策	▶ 政府が食品ロス削減の基本方針を策定	
	▶ 基本方針を踏まえ、都道府県と市町村が削減推進計画を策定し、対策を実施	
	▶ 消費者や事業者に対する普及啓発	
	▶ 食品ロス削減の功績者を表彰	
	▶ フードバンクの活動を支援	
事業者の責務	▶ 政府や自治体に協力し、削減へ積極的に取り組む	
消費者の役割	▶ 食品の購入や調理方法を改善するなど自主的に取り組む	

☆3010（さんまる いちまる）運動

農林水産省
食料産業局

- ✓ 宴会時において、約 7 皿に 1 皿相当が食べ残されている状況。
- ✓ 3010運動は、宴会時に「食べきりタイム」を設け、食品ロスを減らす取組。
- ✓ 長野県松本市で平成23年 5 月から始まり、多数の自治体に広がっている。



宴会での食べ残しを減らす運動です

乾杯後 **30 分間** は席を立たずに料理を楽しみましょう

お開き **10 分前** になったら席に戻って料理を楽しみましょう

京都市の調査によれば、宴会で「幹事からの声かけ」や「卓上POPの設置」の取組を行った場合、取組なしにくらべて、食べ残し量が**約4分の1**に。
(調査対象数が少ないため一般化はできないことに留意)

【地方自治体の取組（松本市、佐賀市）】



	調査対象 宴会(回)	参加人数 (人)	食べ残し 総量(g)	平均1人当たり 食べ残し量(g)
取組あり	4	59	417	7.1
取組なし	5	107	3,315	31.0

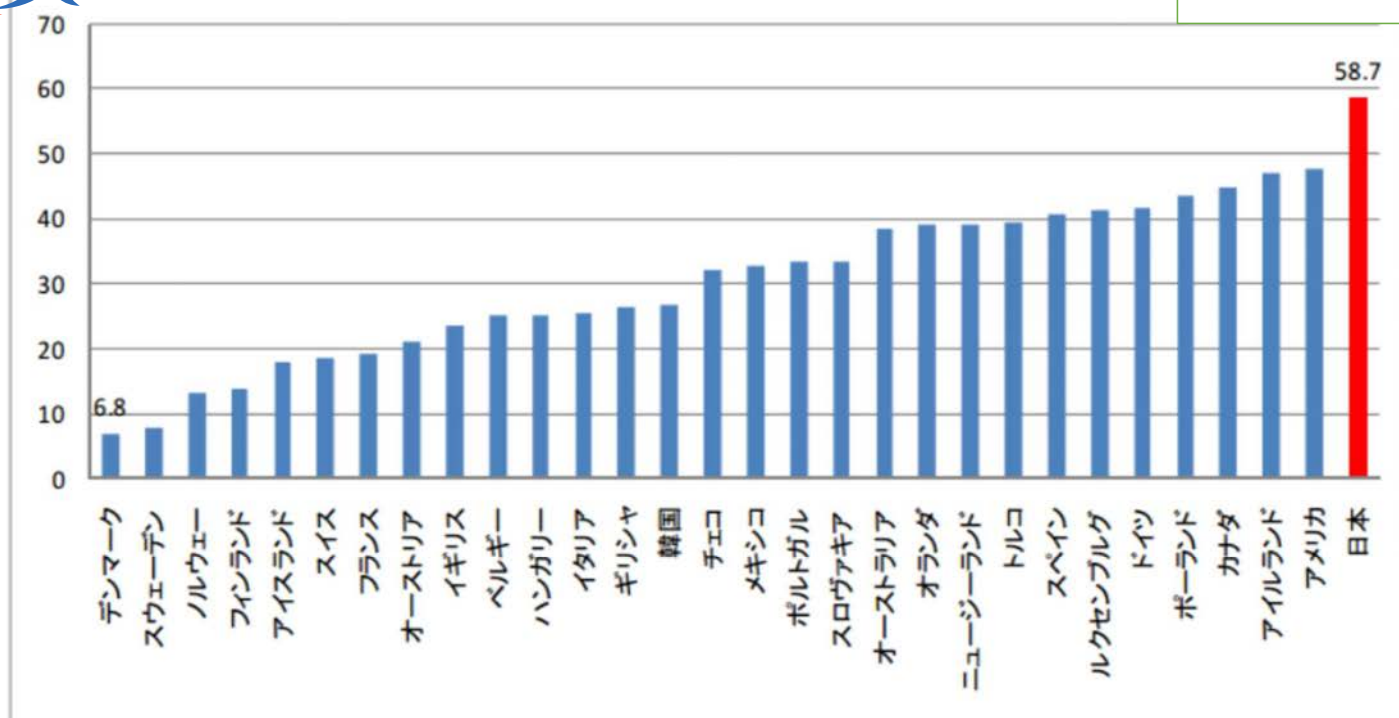
資料：第60回京都市廃棄物減量等推進審議会（平成29年3月28日）

【3010運動テーブルトップ（環境省・農林水産省）】



子どもがいる現役世帯で大人が1人の世帯の貧困率

貧困問題

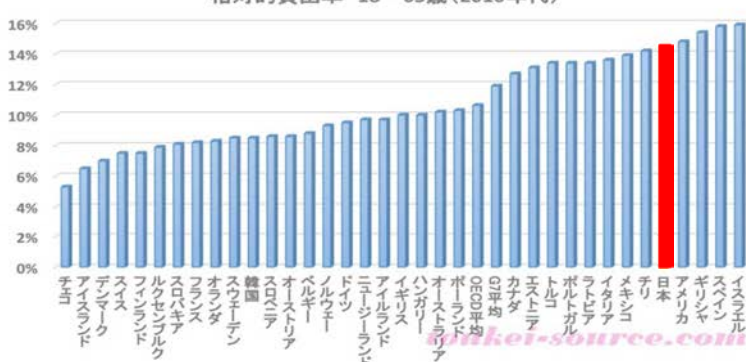


相対的貧困率の国際比較 (対象: OECD加盟34か国)

相対的貧困率 (2010年代)



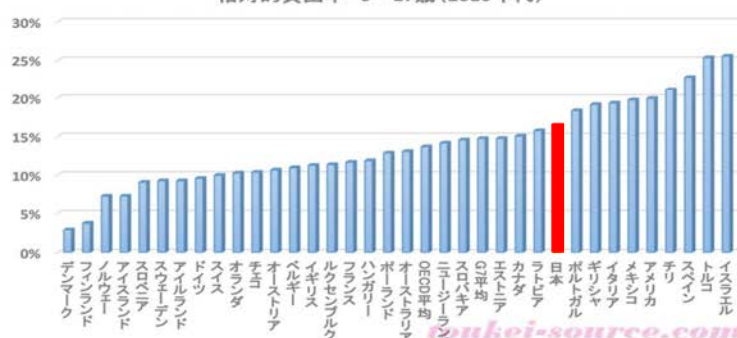
相対的貧困率 18～65歳 (2010年代)



相対的貧困率 65歳超 (2010年代)



相対的貧困率 0～17歳 (2010年代)





貧困の現状

貧困問題

【日本の貧困率】※2019年国民生活基礎調査(OECD基準)

- 相対的貧困率……………15.8%
- 子どもの貧困率……………14.0%
- **子どもがいる現役世帯のうち**
 大人が一人の貧困率……………48.2%
 ※OECD(経済協力開発機構)加盟国中、最下位
- 貧困線……………122万円(可処分所得)



【神奈川県の実況】※2015年国勢調査等

(人口のみ2020年9月)

貧困問題

- ひとり親世帯数 33万世帯(約88万人)
- 神奈川県の貧困率……………16.7%
 ※山形大学戸室准教授2016年報告(2012年度)
- 神奈川県の最低生活費……145.6万円(1人)
 ※全国で最も高い(東京143.7万、山梨95.8万)
- 人口……………921.6万人
 ※横浜376万、川崎154万、相模原72万、清川村3千
- 高齢化率……………24.5%(全国27.4%)
 ※川崎市中原区15.2%、三浦市37.0%、湯河原町40.6%



貧困問題

生活保護を利用できる収入で、利用している世帯は？

ドイツ:65%

スウェーデン:82%

フランス:90%

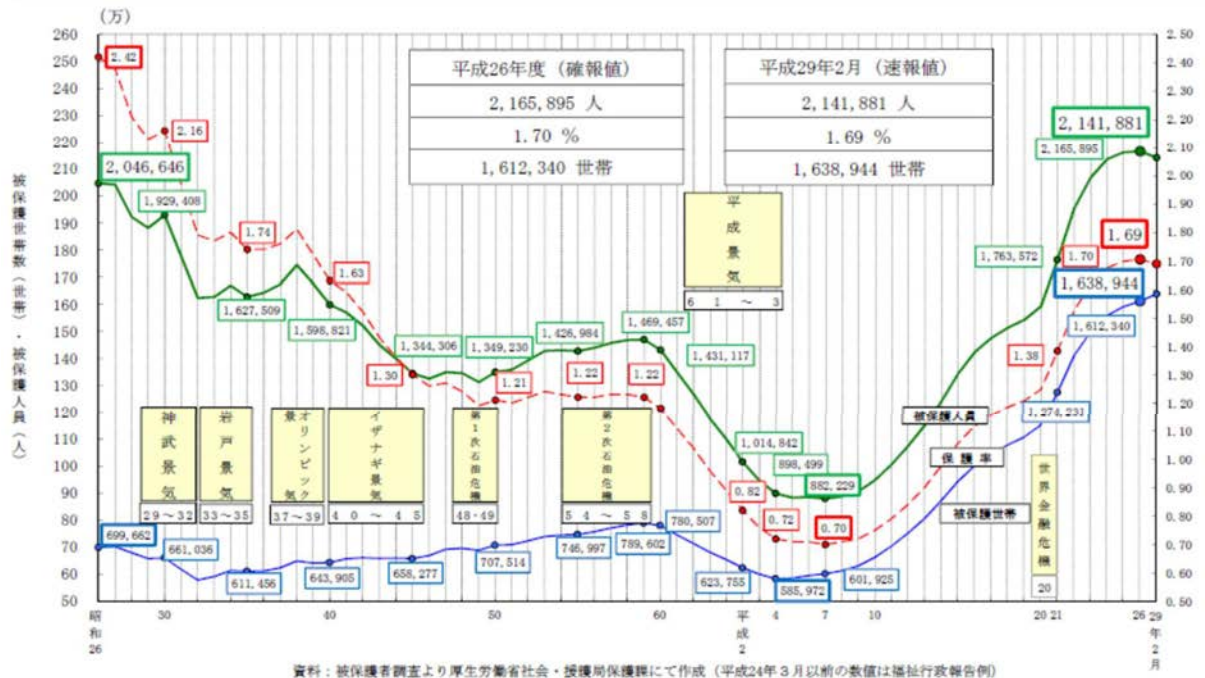
日本18%

⇒低収入でも支援を受けていない家庭が多い。

被保護世帯数、被保護人員、保護率の年次推移

○生活保護受給者数は約214万人。平成27年3月をピークに減少に転じた。

○生活保護受給世帯数は約164万世帯。高齢者世帯の増加により、世帯全体は増加しているが、高齢者世帯以外の世帯については減少傾向が続いている。



貧困問題

生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）について

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給その他の支援を行うための所要の措置を講ずる。

法律の概要

1. 自立相談支援事業の実施及び住居確保給付金の支給（必須事業）

- 福祉事務所設置自治体は、「**自立相談支援事業**」（就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成等）を実施する。
※自治体直営のほか、社会福祉協議会や社会福祉法人、NPO等への委託も可能（他の事業も同様）。
- 福祉事務所設置自治体は、離職により住宅を失った生活困窮者等に対し家賃相当の「**住居確保給付金**」（有期）を支給する。

2. 就労準備支援事業、一時生活支援事業及び家計相談支援事業等の実施（任意事業）

- 福祉事務所設置自治体は、以下の事業を行うことができる。
 - ・就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から有期で実施する「**就労準備支援事業**」
 - ・住居のない生活困窮者に対して一定期間宿泊場所や衣食の提供等を行う「**一時生活支援事業**」
 - ・家計に関する相談、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等を行う「**家計相談支援事業**」
 - ・生活困窮家庭の子どもへの「**学習支援事業**」その他生活困窮者の自立の促進に必要な事業

3. 都道府県知事等による就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）の認定

- 都道府県知事、政令市長、中核市長は、事業者が、生活困窮者に対し、就労の機会の提供を行うとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行う事業を実施する場合、その申請に基づき**一定の基準に該当する事業であることを認定**する。

4. 費用

- 自立相談支援事業、住居確保給付金：**国庫負担3/4**
- 就労準備支援事業、一時生活支援事業：**国庫補助2/3**
- 家計相談支援事業、学習支援事業その他生活困窮者の自立の促進に必要な事業：**国庫補助1/2**

施行期日

平成27年4月1日

格差の広がり・困窮者の増加に対し、2015年自立支援法ができ、自治体の窓口が相談対応

自立に向けて必要な人に食料を支援する必要が出てきた

その食料はどこからだれが調達するのか



フードバンクかながわの事業

【法人が行う公益目的事業】

- (1) 食料の収集・配布を通じた、生活困窮者等への支援事業
- (2) 食品ロスの削減、フードバンク等に係る調査研究・啓発・政策提言を目的とする事業
- (3) 地域社会における市民の相互扶助を増進することを目的とする事業
- (4) 災害等の被災者に対する食料・生活物資等の支援事業
- (5) 勤労意欲ある生活困窮者等の就労支援を目的とする事業



寄贈者



フードバンク
かながわ



支援団体

企業： 様々な理由で販売困難となった
賞味期間残2か月以上の食品を寄贈・提供

行政・企業： 災害備蓄品などの提供

個人： 直送やフードドライブでの寄贈

◆取扱い食品：アルコール類を除く「常温保管可能食品」及び
お米（精米・玄米・もち米・粳米）

◆寄贈品の入庫管理・在庫管理・提供団体毎に仕分け・出庫管理（受渡・発送）

◆「食の支援を必要としている方々」を支援している団体や行政・社協等に無償提供

◆団体への情報提供

提供食品の受渡し場所は、FB倉庫又は中継拠点まで各団体から引取りにきていただきます。（送料着払も対応）

※直接、個人にはお渡ししません。

フードバンクかながわのしくみ （イメージ図）



「もったいない」を 「分かち合い」 ～「ありがとう」へ



おうちCO-OP相模原センター
相模原市中央区田名8301-1

おうちCO-OP海老名センター
海老名市上今泉5-27-45

パルシステム平塚センター
平塚市小鍋島2108 ※2020年1月24日より

パルシステム麻生センター
川崎市麻生区王禅寺西5-2-14

おうちCO-OP横浜東部センター
横浜市鶴見区矢向1-1-47

おうちCO-OP横浜瀬谷センター
横浜市瀬谷区阿久和南4-3-10
※2020年1月24日より

フードバンク倉庫
金沢区富岡東2-4-45

生活クラブあやせ総合センター
綾瀬市吉岡東3-7-9

おうちCO-OP藤沢センター
藤沢市石川1-5-11

おうちCO-OP小田原センター
小田原市前川1-3

フードバンクかながわ 食品受け渡し中継拠点



食品寄贈の流れ(手順)

(事前) 食品の提供・譲渡に関する合意書の締結

(1) 食品寄贈前の連絡調整

ご寄贈頂くにあたり、受入の可否(必要量)や運搬方法確認等を事前に連絡調整させていただきます。

(2) 寄贈申込書(データ)のご送付

ご寄贈頂く品名・数量等の確定後、寄贈申込書(Excelファイル)にJANコード、品名、規格、アレルギー情報等をご入力いただき、メールにてご送付願います。頂いた商品情報をフードバンクの入出庫管理システムにデータ取込を行い、トレーサビリティ確保に努めますので、ご協力の程、お願い申し上げます。

(3) 食品の受け渡し

原則として、ご寄贈者様によりフードバンクかながわ倉庫(横浜市金沢区)まで、配送をお願いします。
※2t以内で近隣の場合は、フードバンクかながわの小型トラックにて、引取も可能です(要相談)。

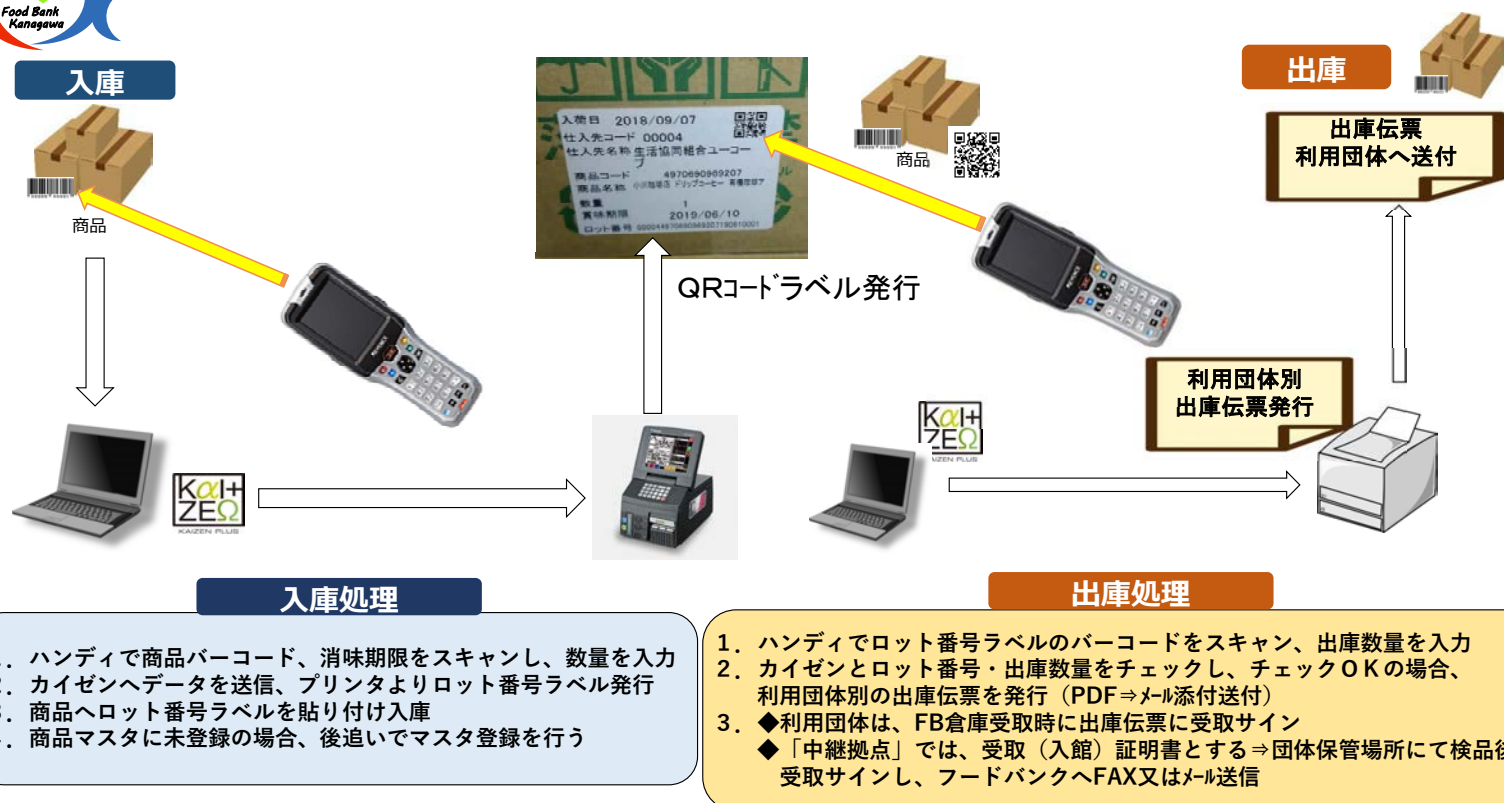
(4) ご寄贈食品の管理・分配

ご寄贈頂いた食品は、入出庫管理システムにて管理・保管し、行政や社会福祉協議会、支援団体に分配(出庫)します。支援団体等を通じて、食の支援が必要な方々にお渡しします。

原則として、当法人から直接、個人にお渡しすることはしません。



入 出 庫 処 理 の 流 れ （トレーサビリティ確保のために）



食品提供(利用団体登録)の流れ

(1) 「利用団体登録申請書」の提出

食品の受取を希望される団体は、登録申請書を提出。

(2) 現地調査

フードバンク事務局が現地を訪問し、食品の保管場所、管理方法、活動内容を確認の上、申請団体に利用登録の可否を連絡。

法人の事業推進委員会での承認後、以下の手続きを行う。

(3) 「食品の譲渡に関する合意書」の締結

(4) 「提供希望食品等アンケート」の提出

(5) 食品の提供開始

フードバンクかながわを利用するための団体要件

- ① 食品は、食の支援を必要としている方々を支える非営利団体又は行政機関であり、併せて、少なくとも月1回以上、支援活動等を実施していること。
- ② 提供食品が受取団体・施設等の収益事業に全量使用される場合は提供しません。
- ③ 当法人の倉庫または、指定する中継拠点(食品等受取所場所)までの受取運搬体制がある、または、宅配便等の送料負担(着払い)が可能な団体で、かつ、提供食品を安全に保管(ストック)する場所があること。
- ④ 別紙の「利用団体登録申込書」を送付いただき事前確認の上、「合意書」締結後、食品分配を開始します。
- ⑤ 別紙の「提供食品利用報告書」(個人情報記載の必要はありません)を毎月、提出できること。
- ⑥ 地域フードバンク等で個人のほか団体等へも支援している場合は、在庫・入出庫管理ができ、記録していること。

※子ども食堂等の要件

上記の要件と併せて、食品を安全に保管できる場所があり、管理担当者を決めていること、衛生管理担当者を決めていることなどの要件(詳しくは利用案内書を参照)を満たす団体に限り、食品を分配します。



フードバンクかながわの現状

2020年12月15日現在

- ・正会員団体 11団体:305口(1口5万円)
- ・賛助会員入会状況
 - (1) 団体会員 164(団体):590口(1口1万円)
 - (2) 個人会員 228名: 1,017口(1口千円)
- ・寄付金(累計)
25団体41名 21,675,261円(2020年度:10,301,818円)
- ・合意書締結状況
 - (1) 食品寄贈事業者 134社(団体)
 - (2) 食品受取(行政・社協) 49団体
 - (3) 食品受取団体 148団体

2018.4.1～2020.12.15の寄贈量と提供量

2018年度実績(4.1～3.31)

寄贈重量＝ 46,394kg(286,391点)

提供重量＝ 39,781kg(246,601点)

2019年度実績(4.1～3.31)

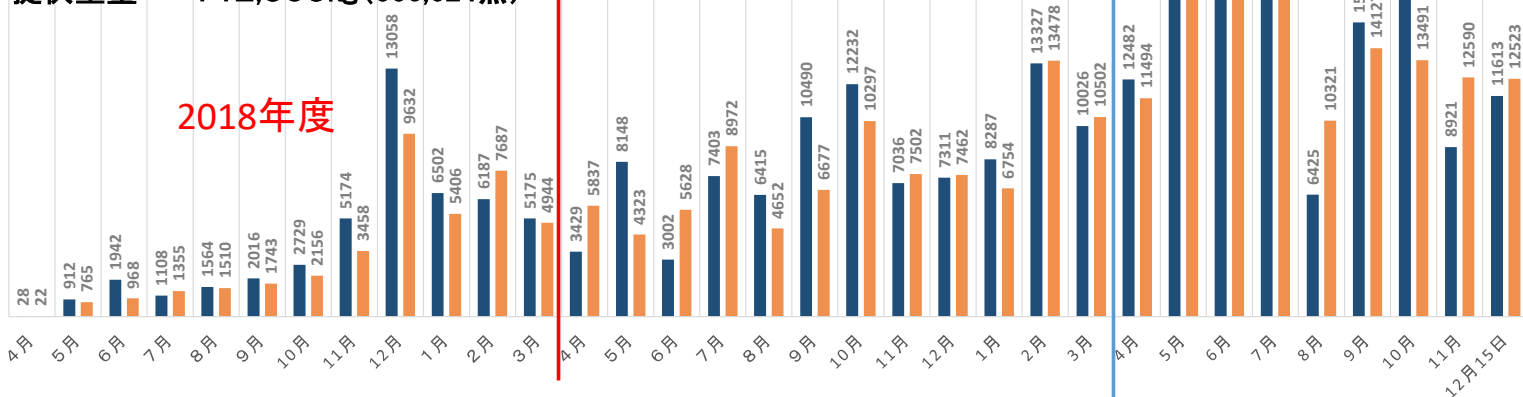
寄贈重量＝ 96,968kg(276,805点)

提供重量＝ 91,905kg(272,475点)

2020年度実績(4.1～12.15)

寄贈重量＝ 144,858kg(553,149点)

提供重量＝ 142,505kg(550,624点)



主な寄贈食品の内訳(2020.12.15現在)

	【2019年度4.1-3.31】	【2020年度4.1-12.15】
・個人寄贈(フードドライブ)	15,963kg	19,139kg
・防災備蓄品	21,654kg	24,430kg
・お米(精米、玄米、もち米)	21,950kg	27,908kg
2019 【ミツハシ7200、※生協11928、※フードドライブ 2822】		
2020 【ミツハシ5100、※生協14872、※フードドライブ 7936】 ※学校給食関係はF Dに含む		
・協同組合関係(FD含まず、米含む)	31,330kg	35,654kg
・その他の事業者	20,822kg	60,535kg

※重複掲載



7/29川崎労福協親子セミナー



7/21 第一学院高校の生徒2年生と先生



8/2ユーコープ横浜南2エリア 親子deフードバンク



7/31森村学園高等部のみなさん



7/13健康づくりリーダー養成検討委員会



7/19高校生ボランティア



8/6タニタフィッツミー井土ヶ谷店の浅野店長が693点137kgフードドライブ品を持参くださいました。



8/14高校3年生と小学4年生(とお母さん)



8/16小学5年生とお父さん＝夏休みの自由課題(食品ロス)



8/16ユーコープの夏季フードドライブ 回収1回目と生活クラブ組合員さんによる仕分け作業(ボランティア)



8/19神奈川ゆめコープの2センター(宮前、横浜北)のフードドライブ回収分＝カゴ車7台



9/11 東海大学の学生4名が、
株ミツハシの幸浦精米工場見学
の後、フードバンク倉庫にて、
フードドライブ品の点検・仕分等
のお手伝い(ボランティア)をしてくだ
さいました。



8/27 横浜銀行の杉田・金沢エリア9店舗の行員によるフー
ドドライブ品を南部地域本部長の窪田執行役員と杉田支店・
南部市場支店の矢野支店長がフードバンク倉庫まで運搬く
ださいました。



9/6 横浜銀行本店にて鈴木地域戦略統括部長より本店行員によるフードドライブ
品を受け取る山口理事(ユーコープ)



10/2福島みずほ参議院議員来訪

10/14横浜労福協戸塚支部58名

10/23神奈川県生協大会301名



10/26ヨコハマwail!wail!フェスタ



10/30ユーコープ県央エリア25名



10/21牧山ひろえ参議院議員来訪



11/1市民と働く者のフェスタ(川崎)



11/2辻堂西地区民児協9名



11/16パルゆめつなごう展



11/19神奈川県立舞岡高校「地域探検」



11/14ユーコープ新入職員45名

J A 神奈川県中央会 × 三浦市農協 ×

青首大根2480本をフードバンクかながわを通じて、子ども食堂や地域フードバンク等に提供されました。



2020年3月～コロナ禍でのフードバンク活動

増える寄贈 食品ロス削減

一日入荷として最高の10.8トン
コカ・コーラ 飲み物 7.5トン
鎌倉紅谷 クルミっ子 3.3トン



コカ・コーラから飲料類、日本農産工業株から卵スープ



セブンイレブンから セブンプレミアムの提供

県社協を通じてセブンプレミアムから
様々な食品が寄贈されています。カルバ
ス、缶詰43,200缶6トン以上を寄贈



販売期限・イベント中止等による寄贈

農水省仲介

給食用の牛乳

休校により給食用牛乳が余剰となり、全農はロングライフ牛乳200ml 1（賞味期限約2か月）にして農水省経由で提供する。
5月半ばから取り組み予定。

機内提供品

飛行機の便数が減り、提供できない機内飲み物・おつまみをデルタ航空が提供

イベント中止

合同会社rakusouより特別仕様のラムネ（飲料）7500本を寄贈。





メリーチョコレート



LL牛乳



日本食研焼きビーフン



かぼちゃのクロワッサン



ヨード卵スープ



パールシステム神奈川
拡大用砂糖



日本食研 カレールー



日本食研鍋スープ

フードバンクかながわは 寄贈と提供マッチング

(株)ツクイ創業50周年記念
DAY・マリノス・フロンターレ戦
で配布予定だったお菓子(森
永ハイチュー特別仕様)1万
個を寄贈。フードバンクかな
がわでは、今急増中の学生
支援、子ども支援に活用。



鎌倉紅谷 追加寄贈 8t強
3850万円分の銘菓を寄贈。
コロナ重症感謝を24時間受け
入れる横浜市立医大病院に
1t分を贈呈
エレベーターがきしみ、管理
課から電話が..



給食用お米 649kgの寄贈
開成町で2つの小学校で使
う予定の給食用米が余剰
となり、寄贈

鎌倉紅谷

新型コロナに立ち向かう医療従事者を応援する

医師・看護師をはじめとする医療従事者の方々に応援しようと、鎌倉紅谷から寄贈されたクルミっ子などのお菓子を病院へお届けし大変喜ばれた。応援・感謝の気持ちはあっても県内の医療機関のどこに・誰に届けたらいいのかと悩むところ。フードバンクかながわの構成団体には、医療生協、JA協同病院、自治労などにつながりがありスピーディに取り組めた。

JA伊勢原協同病院/相模原協同病院/横浜市大病院/市大付属市民総合医療センター/川崎医療生協/神奈川みなみ医療生協/医療生協かながわ/神奈川中央医療生協/日本鋼管病院川崎/川崎市立病院（5/1）の7710名の方々、6月には神奈川県立こども医療センターにも感謝/応援の気持ちと併せてクルミっ子をお届けした。（延べ15100名）



コロナ禍での フードバンクかながわと各支援団体の活動状況

よこすかなかながや

24時間365日の居場所をめざす和田信一さん
 なかながやは(通常)平日朝食、週3回の夕食を提供

- 2/28の休校要請ですぐに弁当配布に動く 学校長、教育委員会にかけあい、閉鎖中のコミュニティセンターの調理室の借用・こどもへの広報の協力を獲得
- 3/6より最初20食からはじめ、5/1終了までに週5日2579食を作り続けた
- 5/1よりコロナ感染者支援の買い物代行と居場所を実施



フードパントリーいろいろ(食品提供・配布)

① 拠点型1 パッケージで渡す 例NPO法人ちやっと



こども食堂ができなくなり、増えたのが食品を袋詰めにして提供する形のパントリー。提供日・時間・場所を決め、つながりのある人々を中心に広報する。

1世帯2袋、近隣農家提供の野菜の袋もつくった。

こども全員に渡すお菓子も用意。



4年前から杉田キリスト教会で子ども食堂を開催。コロナ下でフードパントリー活動を始めた。食堂参加者の電話番号を頼りに月1~3回、15~25世帯、40人から70人に届けている。コロナ下では孤立する家庭が増え、何かあったら相談してくださいとの声かけを大切に訪問。困難な毎日を乗り切るための食品と絆をお届けしている。

② 訪問型 パッケージで届ける キッズカフェ杉田

学生支援1

- 横須賀市福祉専門官北見万幸さんは市内の大学に通う学生がコロナ拡大防止により、アルバイト収入が絶たれる、親や兄弟の収入が減るなどで困難に陥っているのを知った。
- 県立福祉保健大学の学生の3割が奨学金を受給している。
- 自立支援制度の居住確保給付金従来は学生は非対象だったが、コロナ禍で、アルバイト学生や子どもを預けて働けない人にも適用になったが、利用しにくい学生への支援施策の必要性に気づいたという。



朝日新聞デジタルより

学生支援2

- 横浜市社協は苦境にたつ学生を食で支援する寄付を実施し、初日の22日は横浜市健康福祉総合センターで事前予約の170名がキャリーバッグなどを持参して受け取った。米、カレー、スープ、カップ麺、そばなどを200名分提供。
- 六角橋町内会自治連合会との連携でも実施。



学生支援3

- 相模原市はJA相模原市、地域のフードバンク・フードコミュニティなどの市民団体と連携して、市内の学生を対象に、食品支援を開始、初日246名から4日目には500名に達した。それ以降も100名超が訪れる。フードバンクかながわからは毎週2回提供。野菜の提供もあり、学生からは継続を希望。7月については検討中。



学生支援4

6月27日金沢区社協主催による学生への食品提供支援が行われた。予定人数は100名で大学からの一斉メールで情報提供したところ41分で満杯。7割が横浜市立大学生、3割が関東学院大学生。米1.5kg2袋、レトルト食品、缶詰、飲み物、菓子類などを提供。事前にプラスチックバックに入れて手渡した。フードバンクかながわから1.4トンの食品を提供



＜関東学院大学4年生家賃は実家からの仕送り。生活費はバイトで稼いでいる。コロナでバイトがなくなり、その間は実家に援助してもらった。今は部活も始まり、生活費を稼ぐためにバイトを始めなければならない。就職は未だ決まっていない。＞

川崎市の食支援



学生支援5 川崎市社協

- 新型コロナウイルスによるアルバイトの収入減などで生活苦に陥っている学生を支援しようと、川崎市社会福祉協議会が12月19日(土)、食料を無償提供する。会場はエポックなかはらで、10時から12時と、13時から15時の2部制。200人分
- 対象は、新型コロナの影響で生活に困っている市内在住または在学の主に一人暮らしの学生。地域の関係機関や企業などから寄付された白米やレトルト食品、缶詰などを1週間分ほど配布する。同日、福祉職のアルバイト紹介や、学生の悩みに直接応じる相談窓口も設置。担当者は「友人や知人にも情報を広めていただければ」と話す。

- タウンニュース中原web版 12/4



横浜市子ども青少年局/資源循環局 横浜市社協 川崎市社協

ひとり親
支援

横浜市

ばくサポ（ひとり親世帯サポート事業 食品提供会）毎月市内各区で、ひとり親世帯の方を対象とする食品の提供会を実施。
提供会の実施日 時や提供を受けた方のお申込み方法などに関する情報は、「横浜市母子寡婦福祉会」のホームページで



横浜市社協

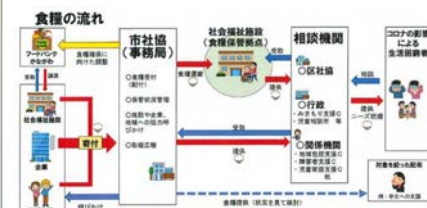
「ヨコ寄付」200万円目標活用
新型コロナウイルス感染症対策の影響等により食べる事に困っているひとり親家庭の子どもを支える取り組み。子どものいるひとり親世帯で食の支援が必要な方へ、7日分程度の食品と支援機関パンフレット等を、宅配によりお届け。



川崎市社協

食糧支援かわさき

支援機関がかかわっているコロナにより食支援を必要な人
関係機関から提供



ひとり親世帯への支援・障がい者の就労の場をつくる

- ・フードバンクかながわが集めた食品は、港南区のそよ風南の家がセットして、主にシングルマザー世帯に社協が届けます。
- ・一つ一つにお手紙を入れます。



中でも米が足りない



生活クラブ生協は1000万円の基金を作り、山形産米25tと物流費を寄付。フードバンクかながわは7tの寄贈を受けた。



平塚市の山口農園さんはディズニールランドが閉園となり提供できなくなった県産米特Aはるみ300kgを寄贈



横須賀の松川さんはお米を持参

フードバンクかながわはミツハシライスさん・ユーコープさんからの定期提供を受けており、米の寄贈は豊富なフードバンク。

しかし、4月以降ニーズが1.5から3倍となり、さすがに米が足りなくなった。学校給食休止で余剰となった米の提供、報道で不足を知りネットで購入して寄贈してくれた人もあり、ありがたかった。



都筑区の林田さんは特別定額給付金の10万円×2でお米525kgを寄付

お米一合運動とJAの寄付

横浜労福協 チャリティゴルフ138kg チャリティフェスタ64kg
浜教組43kg 日産テクノ労組28kg 相模原労福協 川崎労福協・・・



「お米一合運動」にご協力ください

米

コロナ禍での食支援を米寄付で応援

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で「ひとり親世帯」の困窮が深まっています。とくにシングルマザーの世帯では、収入減により貯蓄を切り崩して生活する方が大勢います。

「お米一合運動」は、お米一合を無償で提供いただく運動です。いただいたお米は「フードバンクかながわ」に届けられ「ひとり親世帯」の支援に取り組み、自治体や社会福祉協議会、NPOに寄付させていただきます。皆さんの参加をお願いします。

お米1合を袋に入れて → 各労働団体へ持ち込む → フードバンクかながわに届ける → 地域の支援団体へ → ひとり親世帯へ

「お米一合運動」の参加方法

- お米一合以上を袋やジブロック等に入れてお願いします。
- お米の袋を所属の労働組合に届けてください。
- 労働組合は地域労働協を通して「フードバンクかながわ」に届けます。
- 「フードバンクかながわ」は、ひとり親世帯を支援する行政・自治体・NPOに届けます。
- お米は、賞味期限もなく、「フードバンクかながわ」で再転売するので美味しいお米をお届けしています。

〈しんやまざーふーらむ〉が新型コロナウイルスで影響を受けたひとり親世帯に行った調査によると、①母子世帯の60%の世帯が収入減 ②15%の世帯が収入がなくなった ③「食費を減らすことしか節約の方法がない」「親子とも一日1食」、等の深刻な回答もありました。フードバンクにも切羽詰まっているという声が続いています。

神奈川労働福祉協議会とフードバンクかながわは共同でお米を集めます

神奈川労働福祉協議会
231・0026 横浜市中区寿町1-4
かながわ労働プラザ
TEL 045-227-6290

公益社団法人フードバンクかながわ
236・0051 横浜市中区富岡町2-4-45
TEL 045-349-5803

JAのお米



▲JAさがみ〇〇委員長とフードバンクの市川理事
新米含め280kg寄贈。 1月にフードドライブ予定



- ▲JA横浜女性部 360kg
- 12月フードドライブと募金活動予定

コロナ禍でフードドライブは縮小化

- ユーコープ 全80店舗で7月8月2か月実施
- パルシステム神奈川ゆめコープ センターごとに回収 6月から順次
- 生活クラブ 8月宅配便によるフードドライブ呼びかけ。デポは1週間実施
- ヨーカドー18店舗で常設のボックスを設置。
- 金沢区役所実施。鶴見区役所、横浜市役所でもフードドライブ実施予定

2020年5月



2020年8月



8月18日現在
フードドライブの棚はガラガラになってきました。需要が供給をうわ回っています。

広がるフードドライブ

- ・ヨーカドー 18店舗で常設
- ・ユーコープ 22店舗で常設
- ・自治体の回収



横浜YMCAフードドライブ



横浜市中区役所防災備蓄品



横浜市栄区役所フードドライブ



イオン金沢シーサイド店フードドライブ



イオン八景島店フードドライブ



横浜市港南区役所フードドライブ

2020.4.1-12.15 フードドライブ実績

ユーコープ 79店舗.....4155kg
 パルシステム神奈川.....2018kg
 生活クラブ生協.....834kg
 その他生協(富士フィルム・県連).....152kg
 労働関係.....1677kg
 JA関係.....1254kg

横浜市.....560kg
 横須賀市.....330kg
 藤沢市.....58kg
 神奈川県.....13kg
 イトーヨーカドー18店舗.....2851kg
 ヨークマート1店舗.....32kg
 イオン2店舗.....41kg
 その他の団体・企業.....1591kg
 個人.....3603kg

合計: 19,139kg

イトーヨーカドー洋光台店とイオン金沢八景店



9/29 資源循環局港南事務所



9/8 港南区役所

8/7.10 横浜市立大学ボランティア支援室の呼びかけで、学生15名がフードドライブ寄贈食品の点検・仕分やお米の小分け袋詰め作業のお手伝いをしてくれました。



10/19 葉山町の山梨町長(写真上右側)が食品寄贈合意書と寄贈食品を持参板できました



8/5篠原豪衆議院議員来訪



8/28横浜銀行 矢野支店長



◆写真右:8/28
JP労組南関東地
方本部より15名が
体験研修に参加。

◆写真左:9/1
自治労神奈川県本
部より備蓄品寄贈。



9/30かながわ学生ボランティア連合と
イトーヨーカ堂フードドライブ325.53kg



9/18神奈川県資源循環推進課フードドライブ



10/20フロンティア物産(大阪)
よりチョコ164.4kg寄贈



11/2 ちゃりTea屋♪ 熊本支援の食品を引取



横浜YMCAフードドライブ



中区役所防災備蓄品



栄区役所フードドライブ



イオン金沢シーサイド店フードドライブ



イオン金沢八景店フードドライブ



港南区役所フードドライブ



東海大学生インターンシップ



フードバンクの研修で大学合格



金沢区社協の学生支援を受けた留学生がボランティアに



マスクマンのマスクとお菓子



JA湘南 フードドライブ



アセンチュアの防災パック寄贈



(株)クラダシより うどん2000食寄贈



なかなかやさんにマスクマンの子ども用マスクとクリスマスのお菓子



たすけあい結にクリスマスのお菓子、ランドセルも「うれしい、どんなに喜ぶでしょう。感動しています」



養護施設鎌倉児童ホームと幸福児童園に





地域フードバンクの1つでもある「お福分けの会」(横浜市瀬谷区)では、ひとり親家庭を中心に約90世帯300名)に毎週食支援を行っています。

配布場所は現在12か所で、世帯構成にあわせて箱詰め、仕分け作業は、利用者のみなさんも一緒に行っています。

お米を頂けるようになってから、炊飯器の中にご飯がある状態になりました。子どもはそれがうれしくて、しょっちゅう炊飯器を開けて確認しています。子どもの笑顔も見れるようになりました。ありがとうございました

いろいろな食べ物を頂けているので、食べ物のレパートリーが増えました。子どもも毎回「これ何？」と聞きながら食べています。学校で恥ずかしい思いをすることも少なくなってきましたようです。

子どもに朝ご飯を食べさせることができるようになりました。それまでは朝は食べずに、給食まで我慢していました。ありがとうございました。

あ り が と う の 声

中学生の子どもにおにぎりだけですが、お昼ごはんを持たせてあげられるようになりました。それまでは保健室に行ったりトイレに行ったりとしていたそうです。子どもも毎日嬉しそうに学校に行くようになりました。

果物や野菜など新鮮な物を頂くことが出来ています。特に果物やお菓子などは買うこともできないのでとてもありがたいとおもっています。

運動会の時にお弁当を作ってもっていきました。いつもより多いおにぎりやおかず子ども達は大喜びでした。私も楽しい時間を過ごしました。

ごはんを食べさせることができるようになり、子どもが少しですがふっくらとしてきて子どもらしくなってきました。とてもうれしい出来事です。

ありがとうの声

- うちは中学生・高校生の育ち盛り食欲旺盛で食費がかかっていたので、とても感謝しております。感動して一人で泣いてしまいました。子供たちにばれないように。自分が置かれている環境事実を改めて再確認しました。皆様に支えられているんだなあと思いました。（ひとり親世帯）
- 毎日働きながらの子育ても終盤に差し掛かり、手間はかからなくなりましたが、金銭面や自分が倒れたら困るなどの不安にさいなまれます。この支援が寄付によるものと知り、大変温かい気持ちになりました。（ひとり親世帯）
- コロナの影響で減給のうえ、シフトも減り先行き不安な中、今回の支援を知りました。昨今は母子家庭に対する風当たりも強く助けを求めることがはばかれていましたが、たすけてくださる方々がいるということがとても心強かったです。（ひとり親世帯）
- 仕事から帰ってきて、ご飯作らなきゃ。お米が減ってきてるな、と考えていた時にピンポンがなり、届きました。たくさんの食料、お菓子そしてメッセージの紙。すごく励まされました。このご時世ですが、頑張ろうと改めて感じました。
- 普段は買えないようなおいしそうなお米や、子どもが喜ぶおやつまで。大切に頂きたいと思います。レトルト食品もとても助かります。

学生からのありがとうの声

- アルバイトの時間も短縮され、お金がなく厳しい状況の中でこのような支援はとてもありがたいと思った。地域の方々に支えられて、学生生活を送っていることを忘れないようにしたいと思いました。
- 寄付祖下さり、ありがとうございます。学生のひとり暮らし活コロナの影響で、バイトが全然できていない状況でした。大切に食べさせていただきます。
- 今回初めて参加して、ひとり暮らしなので、たくさんの食べ物を頂きとても助かりました。
とてもうれしかったです。次は自分が社会に貢献できるように頑張りたいと思います。

令和2年度農林水産省農山漁村6次産業化交付金事業



公益社団法人**フードバンクかながわ**

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

Tel 045-349-5803

Fax 045-349-5804

Mail info@fb-kanagawa.com

2020年12月 1500部作成